ケアが希望になる政治へ

日本共産党 衆議院東京12区　田原 聖子通信

No.017　2026年4月号

発行・日本共産党衆議院東京12区
田原聖子事務所
〒115-0042北区志茂2-53-7
☎5939-6581 FAX5939-6582

NO WAR!　アメリカはイランへの武力攻撃をただちにやめよ

日本をふたたび「戦争する国」にするな

殺傷兵器の輸出・軍拡増税

　アメリカとイスラエルによるイランへの武力攻撃は、国際法も国連憲章も無視した暴挙です。いま、ペンライトを持った数万人規模の若者や女性らが詰めかける国会前での集会をはじめ、全国津々浦々から、「アメリカはただちに攻撃をやめよ」、「戦争は早期終結を」の声が沸き起こっています。

　そうした中、自民党と日本維新の会は3月6日に、「防衛装備移転三原則」の運用指針改定に向けた与党提言を高市首相に提出しました。輸出可能な装備品を限定する「5類型」を撤廃し、殺傷兵器の輸出を解禁するもので、政府は4月にも運用方針を見直す構えです。武器の輸出で儲けて世界の軍拡競争をあおり、紛争を助長する国づくりへと突き進むことは、日本を「平和国家」から「死の商人」国家へと根本的に変質させるものです。

　さらに高市政権は、来年1月から戦後初の軍拡増税となる「防衛特別所得税」の導入を狙っています。所得税額に1%を追加課税するものですが、いったん導入すれば防衛費の増加にあわせて際限なく税率が引き上げられる可能性があります。賃金も年金も上がらない中、アメリカ言いなりの大軍拡を増税によって支えることは、断じて認めることができません。

　私は、日本をふたたび「戦争する国」にするたくらみを許さず、平和の輪を広げる行動に連帯してがんばりぬきます。



日本版「女性の休日」全国一斉アクションで、吉良よし子参院議員（左）と



ご相談はお気軽に

- 生活：携帯代が払えない。家賃が高い。食費を削っている。
- 家族：家族やパートナーとの関係がつらい。子育てがつらい。
- 仕事：親の介護で働き続けられない。病気になった。

TOKYO 12 HAUS

日本共産党・田原聖子事務所
〒115-0042北区志茂2-53-7
電話 5939-6581 FAX 5939-6582
mail: kitachikutou@gmail.com

やるねー♪ 結ちゃん

ダウン症の子とともに、尊厳が尊重される社会をめざして

　桜の花が咲き始める春休み。結ちゃんが学校で作った作品と一緒に「選挙出前授業」と書かれた紙を持ち帰りました。興味津々で読み始めると、学校の前にできた広い空き地の使い方を争点にして、学校で模擬投票を行うとのこと。

　立候補した「便利党」と「安心党」の候補者が議論をたたかわせます。便利党が「ショッピングモールを誘致します」といえば、安心党が「地元の商店に行かない人が増えて地域の人同士のつながりが弱くなる。私は地域のつながりをつくります」と。これには、便利党が「お金を稼ぐ力が小さいので街の発展につながりにくい」と反論。

　どこかで聞いたことがあるなぁ～と読んでいくと、最後に「18歳になったら投票という行為を通じて、社会と対等に向き合うことになります。あなたが一生懸命考えて出した答えに間違いはありません。素直な思いを伝えてください」と投票を促す言葉が。ラーメンが大好きな結ちゃんはショッピングモールの絵を見て投票したのかな？　う～ん。


結ちゃん作「私を守るはにわ」